



TOHOKU
UNIVERSITY

20世紀の東北アジアを特徴づけるものとして、近代化と社会主義を挙げることができる。社会主義の思想は、独自の唯物史観に基づく発展史観にほかならない。時代区分としての近代は、歴史上の発展段階であり、社会主義はこの近代を越える到達目標とされた。それゆえ 1990年代初頭におけるソ連圏社会主義体制の崩壊と共産党支配の消滅は、単に政治体制の転換に止まらず、新しい歴史認識の構築をも不可避したのである。本シンポジウムでは、モンゴル・ウズベキスタン・アゼルバイジャン・グルジア・サハ共和国を事例として、旧体制下での歴史認識の在り方や近年におけるその再定義、歴史表象の動向を議論する。

東北大学東北アジア研究センター・シンポジウム

「歴史の再定義」

— 旧ソ連圏アジア諸国における
歴史認識と学術・教育

日時：2010年2月20日(土)～21日(日)

会場：東北大学片平さくらホール2階

プログラム

2月20日(土) 13:30-17:00

開会挨拶：13:30-13:40

趣旨説明：岡洋樹(東北大学東北アジア研究センター教授) 13:40-14:00

報告(報告25分、質疑応答5分)

セッション1：モンゴルの事例 14:00-15:00

司会：北川誠一

岡洋樹(東北大学東北アジア研究センター)

ボル・ブンサルドラム(モンゴル科学アカデミー歴史研究所)

休憩(15:00-15:15)

セッション2：ウズベキスタンの事例(15:15-16:15)

司会：黒田卓

浅村卓生(東北大学大学院国際文化研究科)

エルキン・アフンジャノフ(ウズベキスタン文化大学)

休憩(16:15-16:30)

セッション3：アゼルバイジャンの事例(16:30-17:30)

司会：岡洋樹

黒田卓(東北大学大学院国際文化研究科)

ジャミル・ハサンル(バクー国立大学)

懇親会(18:00-20:00)

2月21日(日) 9:30-14:40

セッション4：グルジアの事例(9:30-10:00)

司会：高倉浩樹

北川誠一(東北大学大学院国際文化研究科)

ヴァジャ・クナゼ(グルジア歴史・民族学研究所)

セッション5：ロシア連邦サハ共和国の事例(10:30-11:30)

司会：岡洋樹

アンナ・シーギナ(ロシア科学アカデミーシベリア支部人文科学北方少数民族研究所)

アンドリアン・ポリソフ(ロシア科学アカデミーシベリア支部人文科学北方少数民族研究所)

昼食(11:30-13:00)

総合討論 13:00-14:40

司会：岡洋樹

コメント(13:00-13:20)

「中国の事例から」

上野稔弘(東北大学東北アジア研究センター)

「ロシアの事例から」

高倉浩樹(東北大学東北アジア研究センター)

総合討論(13:20-14:30)

閉会の辞(14:30-14:40)

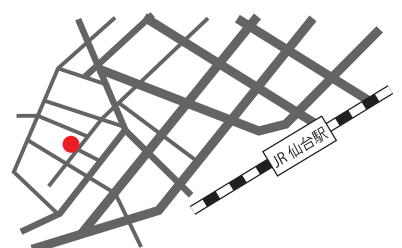
お問い合わせ：東北大学東北アジア研究センター

022-795-6009

<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/>

参加自由

会場案内：片平さくらホール
東北大学片平キャンパス内
仙台市青葉区片平二丁目1番1号



歴史の再定義

CNEAS Symposium

Re-defining history

Historiography and Historical Understandings of the Former Socialist Countries of Northeast Asia

Date: 20-21 February, 2010

Venue: Katahira Sakura Hall, Katahira Campus, Tohoku University

募集：仙台市外より参加する大学院生等を対象に旅費の一部を補助します。
応募要領は東北アジア研究センターホームページに掲載しております。